



早稲田大学 立川稲門会会報

2017年12月20日
第22号

発行 立川稲門会
編集者 小林和雄
事務局 立川市富見町
2-36-43

<http://tachikawatomon.com>



第44回定時総会 開催

平成29年10月14日（土）午後5時30分より、立川グランドホテルにて開催されました。



- ・議題1 平成28年度活動報告
- ・議題2 平成28年度会計報告
- ・議題3 平成28年度監査報告
- ・議題4 平成29年度活動計画
- ・議題5 新役員について(案)

第一部 定時総会

相川雅信副幹事長の司会で第一部・定時総会を行いました。小林和雄会長の開会挨拶、来賓紹介の後、小本曾夏樹業務幹事が議長に選出され、議事に入りました。以下の議題について各担当役員から説明があり、議題は全て承認されました。

第二部 講演会

東京ガス(株) 埼玉支社支社長(元FC東京社長)阿久根謙司氏をお迎えし、「木の上に立って見ましよう」FC東京の人材育成」というテーマで講演をしていただきました。
(講演会の詳細は後述)



第三部 懇親会

上野竜造副幹事長の司会で第三部・懇親会を行いました。早稲田大学・鈴木啓太地域コーディネーター、



立川三田会(慶應大学)・大石敏雄会長、立川白門会(中央大学)・村田光男副支部長より、ご挨拶をいただいた後、鈴木一廣副会長からの会員紹介(増田一郎さん、太刀岡貴司さん、中川洋子さん)があり、小林章子副会長の乾杯で歓談が始まりました。その後、同好会(ゴルフ愛好会、稲酔会、散策の会、早稲田ラグビーを愛する会、若手の会、稲門釣り倶楽部、等)の紹介が続き、最後は相川雅信副幹事長の指揮の下、全員で応援歌・紺碧の空と、校歌・都の西北を歌いました。

習から始まるまちづくり、市民力による生涯学習の実現を目指す」を基本理念とし、その中に「市民推進委員会」を設立しました。

活躍する稲門人脈

この「市民推進委員会」のは、発足から現在に至るまで、立川稲門会のメンバーが大きく関わっています。特に初代会長の鈴木茂夫氏（S29年文）は強いリーダーシップを発揮され、一方、大岩泰世（S33年理工）、伊藤暢子（S50年文研修）、中村克久（S36年政経）、広瀬俊夫（S39年文）、

自分の罪を深く反省し、その上で社会の一員として新たな人生をやり直しても許されるのではないだろうか。

平成27年の一般刑法犯の再犯者率(注2)は48%でした(犯罪白書より)。再犯を防ぐには、矯正施設(注3)から戻ってきたときに、整った環境の中で暖かく迎え支援してくれる人がいることです。そうすれば罪は繰り返さなくて済むのです。

保護司として生きる

私は保護司として、自分が関わった人々を理解し、共感し、寄り添うことを忘れずにいたいと思っています。裏切られることやがっかりすることも度々です。時にはめげそうになることもありますが、彼らの更生を信じて日々接しています。そして、彼らによって私は、大きな人生の勉強をさせてもらっています。保護司に関心を持った方は、どうぞ私に声をかけてください。

(注1) 刑務所の仮釈放者や保護観察付きの執行猶予者、家裁で保護観察処分を受けた少年や少年院の仮退院者に、社会生活を通じて社会復帰を目指すさせる措置。

(注2) 検挙された犯罪者のうち再犯者が占める割合。

(注3) 犯罪を行った者や非行のある少年を収容し改善更生のための処遇を行う施設。刑務所、少年刑務所、拘留所、少年院、少年鑑別所など。



納涼の会 開催

この日の最高気温は二五度。残暑と呼ぶには、秋の気配を感じる涼しい夕暮れ時です。

恒例の「納涼の会」が九月二日(土)午後六時から、四三名の会員に加え現役学生三名も参加して、市内「ファクトリーカミカゼ」で開催されました。納涼の会に付きものと言え、冷えたビール。

今回の会場は、地ビール工場の二階。搾りたての新鮮なビールが飲めるとあって、開宴前から、乾杯!を待ち望む会員の熱気で溢れています。

立川稲門かわら版

ビールが苦手という人でも、工場(一階)直送の新鮮なビールにつられてオーダーしてしまっなど、会場は瞬く間に盛り上がりました。



当日は、タレント中島まさるさんの歌とトーク、バンド「麵鉄音」の演奏などで華を添えました。また、昨期開幕したBリーグ「アルバルク東京」のマネージャーを務める下出恒平さん(日14年人間科学卒)から「地元のアリーナ立川立飛でも試合をするので、観戦に来てください」とのPRもありました。

宴の締めは「都の西北」斉唱。が、この日は一番だけで終了。若干不満気なメンバーから「十月の総会では三番まで歌おう!」との声で再会を約し、夏恒例の「納涼の会」は盛会裏に終了しました。



トピックス



Bリーグが立川にやって来た！

「プロ野球、Jリーグに続く第3のプロスポーツ」というと何のスポーツを思い浮かべるでしょうか。プロバスケットボール

リーグBリーグは、Jリーグの創設に尽力された稲門OBの川淵三郎氏のお力をお借りし、昨年9月に誕生しました。現在1部18クラブ、2部18クラブ、3部9クラブが全国で活動しています。

私たちアルバルク東京はB1リーグ東地区に所属しており、年間60試合のリーグ戦を勝ち抜き、来年5月のチャンピオンシップ出場、そして日本一を目指しています。

今シーズンからは都内で開催する30のホームゲームのうち26試合を多摩モノレール立飛駅徒歩1分のアリーナ立川立飛で開催しています。

バスケットボールの醍醐味は、目まぐるしく攻守が入れ替

わるスピード感、そしてたくさん得点が入るため、仲間と観戦すると喜びやワクワクをたくさん共有できます。もちろんアリーナ内でのビールで乾杯！もできますので、



写真提供：©ALVARK TOKYO

ぜひ楽しいお酒を飲みながらアルバルクを応援して頂ければ嬉しいです。ご観戦希望の方はぜひ下出まで一報ください！

トヨタアルバルク東京
マネージャー
下出 恒平
(H14年人間科学卒)
E-mail
shinoide.k@alvark-
tokyo.jp

新入会員紹介

- ◇潮 麻衣子 平成19年法・平成22年法務研究科
- ◇太刀岡貴司 平成7年文
- ◇永瀬恵太 平成27年政経
- ◇平野克典 平成11年政経
- ◇増田一郎 昭和63年法
- ◇山口哲彦 昭和60年社会学
- ◇岡野和宏 平成8年法
- ◇下出恒平 平成14年人科
- ◇末廣光佑 平成27年教育
- ◇中川洋子 平成22年国際教養

これからの行事予定

- 新年会 平成30年1月20日(出)
立川グランドホテル(予定)
- 観桜会 平成30年4月
国営昭和記念公園(予定)
- 納涼の会 平成30年8月

編集後記

今年も、多くの方にご協力頂き、会報を作成することができました。この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

特集記事では、団塊世代のリタイア後の暮らしをテーマに、幅広い記事を募集しています。具体的には、現役時代のスキルを活用して仕事やボランティアに携わっている方の体験談や田舎の両親が残した家や畑の活用や管理などの実体験など、ご意見をお寄せください。

その他、次号では俳句や短歌のコナを予定しています。どうぞご期待下さい。

(上野)

